

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援-14

学校名・団体名	石巻市立蛇田中学校
HPアドレス	http://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/2040070 0/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	獅子舞による地域伝統芸能継承活動
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>1. 活動 総合的な学習（文化祭での縦割り総合活動）および地域の祭りへの積極的な参加活動</p> <p>2. 目的 ①伝統芸能を引き継ぐ活動を通して、地域のために貢献しようとする意識を育てる。 ②獅子舞の演技及び練習を通して、自己表現力を高める工夫をする力を育てる。</p> <p>3. 研究の意義 ①本校教育活動の柱の一つである、文化祭での縦割り総合活動を通して、活動の達成感・充実感とともに、生徒自身の創意工夫が十分に涵養されること。 ②地域で行う獅子舞活動として、地域の人たちとの交流とともに、親の世代から子に引き継がれていく伝統活動を中学生が行うこと。 ③震災から6年目を迎え、海岸地域で被災した人たちが、仮設住宅や新設された復興住宅に居住している蛇田地区の特性から、中学生の獅子舞が住民の人たちに元気を与える活動として続けていくこと。</p>	

1. 活動の時期及び内容

- | 時期 | 活動内容とそのようす |
|-------------------|--|
| ○ 4月17日 | 【地区 復興支援】 沖地区 花見の会にて獅子舞演技披露
※生徒12名参加 地元FM局ラジオ石巻取材 後日放送される |
| ○ 5月21日 | 【地区】 蛇田地区獅子舞保存会「高玉青年会」との打合せ (1回目) |
| ○ 6月24日 | 【学校】 縦割り総合学習オリエンテーション 獅子舞参加希望者の募集 |
| ○ 7月7日 | 【学校】 縦割り総合学習開始 獅子舞生徒へのオリエンテーション
※今年度の参加生徒35名 |
| ○ 7月16日 | 【地区】 蛇田地区獅子舞保存会「高玉青年会」との打合せ (2回目) |
| ○ 7月23日~
8月20日 | 【地区】 希望生徒による練習会(高玉青年会の指導) 場所 中埠2集会所
※生徒25名参加 青年会の指導者6名 土曜日に4回実施 |
| ○ 8月27日 | 【地区 復興支援】 高玉神社夏祭り 獅子舞演技披露
※生徒22名参加 地域の方々から大好評をいただいた |
| ○ 9月15日~ | 【学校】 文化祭に向けて 縦割り総合学習の活動開始(毎週木曜日 2時間)
※活動目標の設定 リーダー選出 パート分け 練習計画の立案 |
| ○ 9月17日 | 【地区】 蛇田地区獅子舞保存会「高玉青年会」との打合せ (3回目) |
| ○ 10月13日~
25日 | 【地区】 希望生徒による練習会(高玉青年会の指導)
※生徒23名参加 青年会の指導者5名 火・木・土曜日に5回実施 |
| ○ 10月28日 | 【学校】 蛇田中学校文化祭「蛇田祭」 獅子舞発表
※生徒35名による勇壮な演技を披露した 購入した法被のお披露目をした |
| ○ 10月31日 | 【学校】 縦割り総合学習反省会 活動のまとめ |
| ○ 11月3日 | 【地区 復興支援】 蛇田地区文化発表会(蛇田公民館) 獅子舞演技披露
※生徒12名参加 「復興の舞」と称して地域住民から好評を博した |
| ○ 12月12日~ | 正月 獅子舞地区巡り 参加生徒募集 学校にて練習会(22日) |
| ○ 12月17日 | 【地区】 蛇田地区獅子舞保存会「高玉青年会」との打合せ (4回目) |
| ○ 1月2日 | 【地区 復興支援】 お正月 獅子舞地区巡り
※生徒16名参加 半日かけて地区内の家々に獅子舞を披露して歩いた
※高玉青年会の方々も8名参加し、生徒たちとの交流も深められた。 |
| ○ 2月18日 | 【地区】 蛇田地区獅子舞保存会「高玉青年会」との打合せ (5回目)
※今年度の活動への御礼と、4月からの活動について意見を交換した |

2. 活動の成果

(1) 学校での成果

今年で5年目を迎えた獅子舞の活動において、一番の成果は、今年の3年生が初めて3年間通して活動に参加した生徒となったことである。3年生16名中6名が、1年生から「地域に貢献する獅子舞活動」に取り組んできたことにより、「縦割り総合的な学習活動」において、生徒同士が教え合い、3年生が1年生を指導するという学習の到達目標を達成できたことにつながった。

また、貴財団からの支援を受けてそろえた法被により、演技が映えるようになり生徒が自信をもっている様子が表情に表れていた。さらに、学校HPでも獅子舞活動を紹介するようになり、学校の顔となる活動になってきている。

(2) 地域交流の成果

まず、生徒たちの獅子舞を楽しみにしている地域の方々が増えてきていることが挙げられる。今年は、地区の祭りで演技してほしいという依頼が初めてあった。ラジオ局の取材も入り、生徒の活動が広く紹介された。毎年恒例となっている神社と公民館の演技では、年配の方々为本当に喜んで見てくださる姿に生徒たちも感激して、「来年も獅子舞を続けたい」という意欲につながっている。

さらに、獅子舞を経験した高校生やその保護者の方も、獅子舞を楽しみに文化祭や神社の発表を見に来て、今年の様子を聞いたり、演技の感想を話してくれることが活動の参考になっている。

(3) 生徒への効果

今年、獅子舞活動への参加生徒が過去最高になった。3年生16人・2年生9人・1年生10人の構成で、学年のバランスが良く、各学年で獅子・笛・太鼓の各パートを設定できた。また、続けて参加する生徒の中には、昨年までとは別のパートにチャレンジする生徒もいるなど、獅子舞を楽しもうとする意欲が育ってきている。また、法被をそろえたことで、自分たちの演技を誇らしく思う気持ちが見られるようになった。これらのように、生徒の内面の成長があったことが、今年の獅子舞活動での成果であったと思われる。

3. まとめ

○獅子舞活動5年目を終えて、活動のスケジュールが年間カレンダーに書き込めるようになってきた。活動する時期が定まってきたことから、学校での諸活動との調整も取りやすくなってきている。そのため、より多くの生徒が活動に参加しやすくなってきている。

○学校だけでなく、地域からも活動への支援が広がってきているので、地域に根ざした活動として、蛇田地区の歴史と伝統を受け継いでいく生徒の育成をさらに進めていきたい。